

1月31日

第13回弟子屈フォトコンテスト審査会を実施

入賞写真についての講評



弟子屈町の魅力がたくさん
摩周湖観光協会（渡辺隆行会長）が主催する「第13回弟子屈フォトコンテスト」の審査会が1月31日、釧路圏摩周観光文化センターで行われました。原始の自然が残された町の魅力を広く発信するとともに、写真文化の発展に寄与することを目的に毎年開催されているものです。審査会には、町在住の写真家の水越武さんが特別審査員として参加し、最優秀賞など計20作品を関係団体から参加した審査員と選定、写真についての講評が行われました。

今回は「星空」「雲海」「アクティビティ」「自由」の各部門に、道内外の95人から229作品と多くの応募がありました。渡辺会長は、「素晴らしい作品ばかりで、たくさん応募いただきうれしい」と話していました。入賞作品は「弟子屈なび」でご覧ください。

1月30日

ピアノで全国大会へ 田中南美さんが表敬訪問

素晴らしい演奏を披露する田中さん



弟子屈中学校（小林一博校長）1年生の田中南美さんが1月30日、町公民館を表敬訪問しました。田中さんは令和5年12月16日に札幌市で行われた、第14回日本パッハコンクール札幌地区大会中学生A部門において見事優秀賞を受賞しました。訪問時には教育長・副町長らの前で演奏も披露し、大きな拍手と激励が贈られました。また、2月10日から東京都で行われた全国大会に出場しました。

12月8日

暴力追放活動に尽力 暴力追放功労全国表彰を受章

表彰状を手にする高田中さん(中央)



町暴力追放運動推進協議会会長の高田中さんが11月30日、東京都明治記念館で開催された令和5年全国暴力追放運動中央大会において「暴力追放功労金章」を受章しました。高田さんは、昭和61年協議会発足当時から中心メンバーとして活躍し、平成14年からは会長として長きにわたり暴力追放活動に貢献し今回の表彰となりました。弟子屈署管内での金章は初の受章となり、12月8日に役場を訪れ報告会が行われました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

2月4日

弟子屈町単独で初めて てしがが公売会を開催

入札会場の様子



税の公平性と財源確保のため差し押さえた財産を売却し滞納税に充てるため、町は公売会を2月4日、町公民館で開催しました。この日は町が差し押さえた家電製品や家具、日用品など計71点が出品され、144名の方が入札に参加していました。町単独での公売会はこの日が初めての開催で、66点が落札され、224,440円が売却されました。

2月1日・2日

鬼をやっつけよう 節分の豆まきを実施

豆を投げて鬼退治川湯保育園



川湯保育園（中村重忠園長）は2月1日、認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）は2日に節分の豆まきを実施しました。節分を迎えるこの時期に毎年行われている行事で、先生方が節分や鬼についてお話をし豆まきの声かけを確認。中には、泣いている園児もいましたが各園で一生涯懸命豆をまいて無事に鬼を退治することができました。

1月5日～31日

弟子屈町絵紙摩周湖と児童による 年賀状の作品展を開催

心温まるメッセージが添えられた作品の数々



弟子屈郵便局（藤原将男局長）では、弟子屈町絵紙摩周湖（藤原直美代表）と弟子屈小学校（渥美清孝校長）2年生25人による年賀状作品展が開催されました。弟子屈町絵紙摩周湖の作品は1月5日～31日まで、辰年にちなんだ縦長や横長の作品48点が展示されていました。児童の作品は、1月9日～31日に展示され、絵に加えて「いつもありがとう」など心温まるメッセージも添えられていました。今回展示した作品は第21回全日本年賀状大賞コンクールにも応募されたとのことでした。

1月4日

防災意識を新たに 弟子屈町消防出初式を開催

徳永組長らによる観閲式



弟子屈町消防出初式が1月4日、弟子屈消防庁舎前で行了されました。出初式は、地域住民の防災意識を高めるとともに、消防職団員の士気高揚を目的に開催。徳永組長らによる観閲式などが行われました。徳永組長は能登半島地震などのニュースから「人を思う心を持ち、町民が一つになり、色々な行動ができなければならない」と再認識したと話していました。

2月8日

楽しく色付け 卒園記念作品づくりを実施

一生懸命色付け



認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）のぞう組の園児は2月8日、てしががえこまち推進協議会（徳永哲雄会長）アート部の今井善昭部会長を招き、卒園記念作品のコップに色付けを行いました。その後高温の窯で焼き、卒園式に合わせて園児の手に届けられるとのことでした。また、川湯の極楽芸術祭で3月3日まで出演している演劇家OGさんなども来園し園児全員にパフォーマンスを行い園児は笑顔で楽しんでいました。

2月7日

森や川での研究成果を報告 玉川大学との共同研究成果報告会

発表に参加した学生たち



令和6年度玉川大学との共同研究成果報告会が2月7日、町委員会室で行われ、吉備津副町長、岩原教育長ら、関係者など約20人が参加しました。町は平成21年度から玉川大学との共同研究を開始。平成27年度からは包括連携協定を締結し、相互協力の下で毎年調査を実施しています。今回は8人の学生が研究成果を発表しました。アイヌ民族の食糧だった植物の生育環境調査やアイヌ料理の再現、町の天然記念物マリゴケの現状と水質や湖底などの生育環境の保全などについて報告が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、共同研究に長年ご尽力された同大学農学部の吉川教授が、この3月に定年退職を迎えることから学生たちから花束が贈られました。

1月18日

楽しく遊ぶために 交通安全教室を実施

人形がはねられる様子を見学



川湯保育園（中村重忠園長）で1月18日、交通安全教室「こぐまクラブ」が行われました。こぐまクラブでは年に数回交通安全について学んでおり、今回は雪道での危険性について学びました。そりに乗ったダミー人形が車にはねられる様子などを見て「怖い」と話していた園児などもおり、外で雪遊びをするときは、道路から離れたところや公園などで遊ぶことを約束しました。

1月13日

冬休み企画 「作って食べてチャレンジだ」を実施

じゃがいもの皮をむく児童



町未来子ども協議会（目黒厚子会長）は「作って食べてチャレンジだ」を実施しました。今回は児童14人が参加し、グループごとに役割分担をして、食材を切ったりお米を研いだりして、豚汁とおにぎりを作りました。低学年がいる中、高学年が包丁の使い方を教える姿や、普段から家の手伝いをしている児童は、積極的に作業に取り組む姿が見られました。お昼にみんなで作った料理を食べたあと、かるた大会を行い楽しい時間を過ごしました。